



市長が感謝状を贈呈しました

3月16日、市内で発生した緊急事態に対し、救命活動や消火活動を行った二人に、三次市長から感謝状が贈られました。

新居晃さん（下町）は、昨年10月に宇留野地内で心肺停止状態の男性を発見し、素早く適切な心臓マッサージを実施。その後救急搬送された男性は、一命を取り留めました。

また柳田雄介さん（下小瀬）は、今年2月に門井地内で発生した火災で、迅速な初期消火を行い、消防隊が到着する前に火を消し止めました。柳田さんは、消防団に所属している兄の災害メールで火災発生を知り、現場の消火栓を操作して消火にあたり、近くの住宅への延焼を防ぎました。



▲表彰された柳田さん（左から2番目）と新居さん（右から2番目）

山火事を防止しましょう

これから新緑の季節を迎え、ハイキングや山菜採りなどで山に入る機会が増えます。

休憩中に一服…“何気なく捨てた1本のたばこ”でも、それが取り返しのつかない大きな山火事につながる可能性があります。

山火事は延焼しやすく消火しにくい火災で、大規模な火災に発展して地域社会に甚大な被害を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。

一人ひとりの力を合わせ、恐ろしい山火事を防ぎましょう。

【山火事を防ぐポイント】

- ・ 枯れ草等のある場所では、たき火をしない
- ・ 火気使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- ・ 空気が乾燥している時や風の強い日には、たき火や火入れをしない
- ・ 指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てをしない
- ・ 火遊びはしない



平成29年全国山火事予防運動統一標語

「火の用心 森から聞こえる ありがとう」